

令和3年度 備前市立香登小学校 学校評価書別紙

（A：目標を上回った B：ほぼ目標どおり C：目標を下回った）
 【児】児童アンケート【保】保護者アンケート【教】教職員アンケート

学校経営目標等	評価項目	今年度の達成基準 %（肯定的評価） （そう思う＋だいたいそう思う）	自己評価		分析・改善方策	学校関係者評価	
			達成状況	評価		コメント	評価
強いからだ 自分の体を知りよい習慣を続ける子 [セルフマネジメント力の向上]	(1)メディアスリム化	項目1…80% メディアコントロール力	項目1 児86%・保59%・教71% 達成基準を下回っている。	C	メディアと健康（視力）や生活習慣（就寝時刻）は関連があり、心身の健全発育に悪影響が及ぶことが危惧され大きな課題である。保護者の理解と協力を得るためにも、改善方法を啓発するなど児童と保護者双方に向けた継続指導が必要である。学校保健安全委員会やPTA講演会、学級懇談や個人懇談等を活用して、個別具体的な連携・協力をお願いしていく。	メディアコントロール力の保護者評価の低さに注目する。子どもの評価は大体高めですが、メディアスリム化に関してはもう少しという気持ちが見受けられます。家庭内でコントロール力を育てる難しさが伝わってくる。メディアスリム化大作戦の取組の重要性も感じるがマンネリ化も懸念できない。具体的視点を絞って全体で取り組むと効果が出ると思う。ルール決めや設定方法など、保護者も正しい知識をもって改善するしていくことが大切。中学へ進学してからの新1年生の苦勞が目立ちます。	B
	(2)基本的生活習慣	項目2…80% 早寝・早起き・朝ご飯 項目3…90% 挨拶・姿勢・言葉遣い・他	項目2 児87%・保78%・教94% 項目3 児91%・保78%・教94% 概ね達成基準を満たしている。	B			
	(3)粘り強くやり抜く	項目4…80% 体力づくり・外遊び	項目4 児92%・保78%・教71% 達成基準を下回っている。	C			
広いところ 柔軟な心をもち温かい人間関係をつくる子 [コミュニケーション力の向上]	(1)折り合いをつける	項目1…90% 他者と仲良く	項目1 児100%・保91%・教100% 達成基準を上回っている。	A	児童相互の良好な関係づくりを重視した計画的な集団づくりが成果に繋がったと考えている。（いじめ0・暴力行為0・不登校0）6年生が非認知能力に焦点を当てた取組を実施し、その好影響が学校全体に波及効果を及ぼしたと考えられる。取組の成果を形成的評価や総括的評価により児童・保護者と共有し、自尊感情や自己肯定感を高める取組の改善を図っていく。	香登の子は、男女みんな仲が良いと思います。地域の方々との関わりも多く世代を問わずコミュニケーションを良好にとれていると思います。誰かに、すぐ相談できる環境がある。いじめ、差別などは知的理解だけでなく行動が大切なので大人の姿を通して知らせてほしいと思います。成果が表れていることに感謝します。6年生の活動が下学年に継承されていて素晴らしい取組に頭が下がります。お家の人から「挨拶をしないよ」と声かけをしてもらえたらいいなと思いました。	A
	(2)好ましい人間関係	項目2…90% 学校生活を楽しむ 項目3…100% いじめを許さない	項目2 児94%・保94%・教95% 項目3 児98%・保90%・教100% 両項目共に90%を超えているが、項目3は100%をめざしたい。	B			
	(3)自尊感情や自己肯定感	項目4…90% 学校行事や体験活動	項目4 児87%・保90%・教94% 概ね達成基準を満たしている。	B			
かおる歴史 確かな基礎力を土台にして学びを広げ生かす探究する子 [問題解決力の向上]	(1)考えを広め深める力	項目1…80% 校内研究	項目1 児89%・保88%・教94% 達成基準を上回っている。	A	「根拠をもって自分の考えを広げたり深めたりする児童の育成」を研究テーマに校内研究に取り組んだ成果が、児童の姿に表れた。宿題や自主学習を含む家庭学習は、家庭の教育力格差と関係が認められ、学校の指導には限界がある。保護者との連携により児童への個別支援を継続実施したり、学力パワーアップ週間の取組を継続発展したりすることで、家庭学習の内容や取組の改善を図っていく。	児童に分かる事の楽しさを充実させていただきたいので、大変だと思いますが保護者との連携をよろしくお願ひします。ペアやグループによる学び合いはとても良いと思います。自分の意見をまとめて人に伝えたり、相手の話を聞いたりする力は大人になってからすごく大切だと思うので、他の評価でも言えることですが、C・D評価をつける場合「なぜそう思うか」「どうすればよいと思うか」などの意見を書いてもらえば、今後の取り組みへの改善点が見えてくるのではないかと思います。	B
	(2)学ぶ力と家庭学習力	項目2…80% 学力向上プラン 項目3…80% 宿題や自主学習	項目2 児95%・保80%・教89% 項目3 児92%・保74%・教76% 項目3の評価が低い項目2と合わせて総合的に評価する。	B			
	(3)学習規律の維持	項目5…90% 場に応じた言動	項目4 児94%・保90%・教94% 達成基準を満たしている。	B			
信頼される学校	(1)教育活動の公開	項目1…90% 情報発信	項目1 児91%・保99%・教88% 概ね達成基準を満たしている。	B	コロナ禍で運動会や参観日の中止・変更もあり、保護者や地域の皆様と情報連携が十分にできていない面もあったと思われる。また、児童や保護者の中にはコロナ禍での学校生活や学校の対応にストレスや不満を感じることもあったと思われる。学校教育目標の達成と児童の健全成長のため、保護者や地域の皆様と手を携えて共に学校を創るよう取組の改善を図っていく。	コロナ禍でありながら達成基準を満たされるという結果は、学校側の努力があつての事だと思います。学校だよりを頻繁に発信されている事などが伝わっているのだと思います。確かに行間が狭いと読みにくさがあります。もしよろしければ一考を！地域の協力を様々な面で感じています。コロナ禍での中止や変更は仕方のないことなので、学校だけでなく保護者・地域も子どもを一番に考え協力していければと思います。先生方には大変な中、支援してくださり感謝しかありません。	A
	(2)外部との連携・協力	項目2…80% 小中一貫教育 項目3…90% 地域連携	項目3 児95%・保83%・教100% 項目4 児93%・保98%・教100% 項目3・4とも達成基準を上回っている。	A			
	(3)教職員の資質。能力の向上	項目4 90% 教職員研修と働き方改革	項目4 児97%・保93%・教100% 達成基準を上回っている。	A			